

紫波のCS

発行：紫波町教育委員会学校教育課

TEL019-672-2111（内線3122）

文責：CSコーディネーター 佐々木 勉

令和5年度 紫波町学校運営協議会推進シンポジウム



侘美淳教育長 あいさつ
紫波町情報交流館大スタジオ

紫波町学校運営協議会推進シンポジウムが、令和6年1月27日(土)参加者63名（各学校運営協議会からの参加希望者、町議会議員、保護者）で開催されました。

開会行事では、侘美淳教育長から「学校運営協議会制度は、紫波町では令和3年度に紫波西学園で、令和4年度には町内すべての学校で導入されました。2年目になるこのシンポジウムでは、子どもたちが育っているか、地域の支援と一緒にがんばっているかなどをチェックしながら、様々なご意見を伺いながら、次に向かっていきたい。」とのあいさつがありました。以下、この内容をお知らせします。

行政説明

「紫波町では、国と県の方針をうけてどのように学校運営協議会制度を進めてきたか」

紫波町教育委員会事務局 CSコーディネーター 佐々木 勉

国では学校には地域の支援が必要という考えから、平成16年に「学校運営協議会制度」がつくられ、平成27年にはコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的・効果的推進が提言されました。平成28年には「社会に開かれた教育課程」が提示され、全国の小中学校に令和4年度までに学校運営協議会制度と地域学校協働活動を導入することが努力義務とされました。紫波町では、国と県の動向から学校運営協議会制度と地域学校協働チームを組織して、教育振興運動を発展的に移行してきました。

現在、紫波町はすべての学校に学校運営協議会を設置し、CSコーディネーター2人体制でどの学校でも同じ仕組みで推進できるようにしています。また、地域学校協働活動は地域学校協働チームとして事務局体制（副校長・主幹教諭、地区公民館指導員、CSコーディネーター等）で進めています。従来の教育振興運動については、町組織は解散したものの発展的に学校運営協議会制度に移行し、活動を継続しています。とくに中学生社会参加活動は、地区公民館と生涯学習課で「中学生の自己有用感」を高めることを目的に進めていますし、全県共通課題（読書・情報モラル）についても、地域学校協働活動の中で継続して取り組んでいます。

事例発表

日詰小学校学校運営協議会 日詰小学校校長 森 和佳子 氏



日詰小学校は、今年度創立150周年を迎える伝統ある学校です。この記念すべき1年を、全校児童385名が実感できる取り組みや学習をさせたいと考え、昨年度学校運営協議会で委員の皆さんに支援を求めました。

学校運営協議会の話し合い”熟議”では、例えば、「今の子どもたちは急須でお茶を入れる経験が少ない…」と紹介したところ、委員の中から「平井邸でお茶体験ができたらいいなあ」とか「平井邸の歴史も学びながら」「日詰のよさも知ってほしい」と様々な意見や提案が出されました。そして、この話題が広がり、日詰商店街を中心とする地域の皆様の努力で、1つ1つ子どもたちのための学習が実現されていきました。

以下、裏面へ



今年の日詰商店街での様々な学習と交流の中で、森校長先生は地域のおばあさんからの「見学学習の後、子どもたちがあいさつしてくれます。こんな幸せな時間をいただき、ありがたい気持ちでいっぱいです。」という言葉が強く心に残っていると、感慨深げに話されました。



これらの交流や1年「遊ぶ」2年「探検」3年「食」4年「福祉」5年「歴史」6年「協働」の沢山の実践例の発表に、会場から大きな拍手が送られました。

日詰小学校では今年の成果を受け、来年度に向けて総合的な学習の時間のさらなる見直しを構想しているとの発表でした。今後の発展が一層期待されます。

グループの話し合い

8つのグループに分かれて、発表と協議（ファシリテーター【進行役】は副校長・主幹教諭の先生方）



各学校運営協議会からの参加者、町議会議員、当日の一般参加者が8グループに分かれ、話し合いを行いました。副校長・主幹教諭の先生がファシリテーター（進行役）となり、はじめの自己紹介の後、それぞれの具体的な活動が紹介されました。グループでは、質問や笑い声も交えた和やかな話し合いとなりました。事後アンケートには、「話し合いの時間がもう少しほしかった」という意見もありました。グループと全体会での発表の様子です。



各グループで30分ほど各学校運営協議会の情報交流を行いました



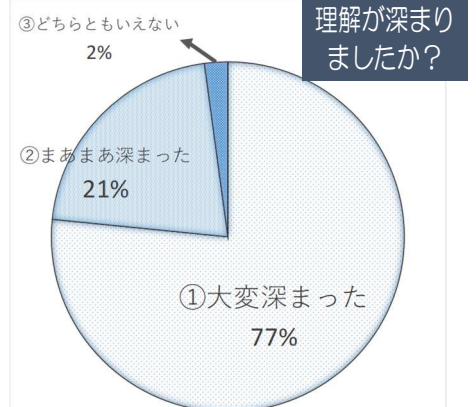
全体会での発表



ファシリテーターをつとめた副校長・主幹教諭の先生から、話し合いに使われた模造紙をもとに

各1分30秒で紹介されました

参加者のアンケートから



参加された方からのコメント

○地域と子どもたちをつなぐ重要な組織だと思うので、情報共有をしながら活性化がはかれることを期待します。（40代女性）
○沢山の方からのお話を聞けてよかったです。地域のかかわりの大切さ等が子どもたちにとっての育ちに生かされている姿をひしひしと感じました。（70代女性）